食品の安全性に関する地域の指導者育成講座

ゲーミングシミュレーション クロスロード「食の安全編」

平成20年3月4日(火) 内閣府食品安全委員会事務局

「クロスロード(Crossroad)」

(商標登録済 商願番号2004-83439および2004-83440) 制作著作: Team Crossroad チームクロスロード 文部科学省の研究プロジェクトの成果物

"Team Crossroad" 吉川肇子(慶應義塾大学商学部、社会心理学) 矢守克也(京都大学防災研究所、防災心理学) 網代 剛(ゲームクリエーター)



『防災ゲームで学ぶリスクコミュニケーション』 ナカニシヤ出版 http://maechan.net/crossroad/shinbun.html

ゲーミングシミュレーションは、ゲームの参加者が、<u>与えられた立場に立って参加者間で意見を交換しながら、問題の解決策を考える手法</u>。

- 食品に関する様々な問題を自らの問題として考える。
- ー 様々な価値観や意見を参加者同士で共有する。
- 立場によって多様な考え方があることを実感する。

なぜゲームを取り入れるのか

- ・「聴く」「話す」トレーニングが必要不可欠
- リスクコミュニケーションそのものへの理解とそこに 参加するという心構え
- 遊びのゲームではないが、言葉の印象から積極的な参加が期待できる
- ・ ゲーム中あるいはふりかえりの際に知識の欠如や 問題点に自ら気がつく(自発的な学習)

クロスロードの種類

- □ 神戸編、一般編
- □ 市民編
- □ 海上保安庁(職務特殊)
- □ 高知編(地域版)
- □ 感染症編
- □ 新型インフルエンザ編
- □ 食の安全編 ◀ 指導者育成講座で実施
- □ 東海地震編
- □ 医療安全編 etc・・・

「クロスロード」サンプル(神戸編1008)

- □ あなたは食料担当の職員です
- □ 被災から数時間。避難所には3000人が避難しているとの確かな情報が得られた。現時点で確保できた食料は2000食。以降の見通しは、今のところなし。まず、2000食を配る?

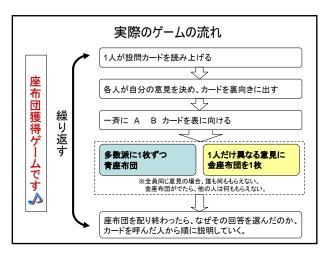


A 配る



B 配らない





まずは人の意見を聴くことを念頭に!

- □ 読み手、意見の発表は時計回りで
- □ その立場になったつもりで
- □ なぜA(B)なのか、他者の意見を聴きながら
- □ 問題点を考えながら
- □ 自分の考えを伝え議論しながら
- □ 座布団を獲得しましょう!
- □ 金座布団を手に入れることを目的にしてもOK!

※最後のふりかえりの時に必要になるので、回答に苦労した設問、 設問の意味がわからなかったものがあったら各自メモしておきましょう。

5 生菓子売り場の主任

このところ、売り場の販売不振が続いている。一発逆転をねらって 北海道から仕入れた銘菓も、大量に残ってしまった。消費期限はあと 2日。今日から半額にするか? 明日から半額にする?

A 今日から

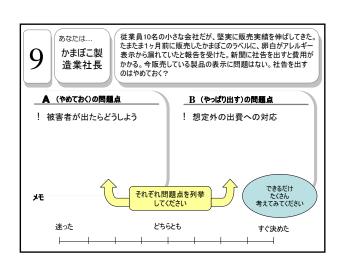
B明日から

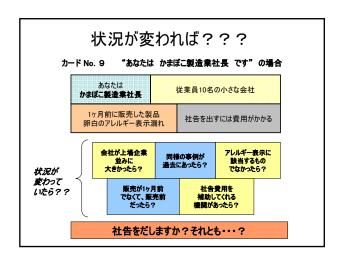
9 あなたは、かまぼこ製造業社長 従業員10名の小さな会社だが、堅実に

使業員10名の小さな会社たか、堅美に 販売実績を伸ばしてきた。たまたま1ヶ 月前に販売したかまぼこのラベルに、 卵白がアレルギー表示から漏れていた と報告を受けた。新聞に社告を出すと 費用がかかる。今販売している製品の 表示に問題はない。社告を出すのは やめておく?

A やめておく

Bやっぱり出す







クロスロードの考え方

- □ ジレンマ事象を対象にしている
- □ 異なる経験を持つ人々が多様な視点を共有する (相互作用)
- □ 情報などの制約がある→少ない情報から、重大な判断を迫られる体験
- ☆ OOはこう考えることが大事。同じ答えでも理由はひとそれぞれ。
 - →正解のないゲーム (事例はある)
- ☆ 多数決や全会一致にとらわれない

クロスロードから学ぶ

- □ 他人の意見を聞き、学ぶ
 - 立場による意見の違い
 - ー 自分の知らなかったことへの気づき
 - 考え方は人それぞれ
- □ 自分の意見を相手にわかるように伝える
- □ 社会の問題点や仕組みを学ぶ

ゲームの効果

「たとえば、子どもたちが環境問題のゲームをやったとしても、その直後は良い成績をとらないかもしれない。しかし、2週間後に新聞を読んで、『あ、そういうことだったのか』とわかる。それがゲームの効果である。」

自ら考えることで学ぶ 「帰り道で考えてみてください。」

実施に際して

- □ 1グループ5人か7人の奇数人数
- ヷループの構成メンバーはなるべくいろいろな立場の人をふくめる
- □ グループ分けの時には性別も考慮する:女性がいると 話がスムーズに進む傾向がある
- □ 各グループ内にファシリテーターは必要ない
 - → 進行役は全体で1人。
- ふりかえりをする(ふりかえりシートをつかって、グループ及び全体で今後の活用方法等議論)
 - → 参加者のもやもや感を残さない。